

特集

ノーリフトケア—介護者・対象者 共にやさしい
起居・移乗技術

抱え上げないケアの必要性—他国の取り組みと日本の現状	保田淳子
介護者の腰痛や対象者の二次障害を引き起こすケアと双方にとって やさしい移乗・移動支援の実際	眞藤英恵
回復期リハビリテーション病院での取り組み	今村純平
施設での取り組み	久保貴行
在宅での取り組み	福田裕子
地域での取り組み	西川まり子

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集名譽顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上菌紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	川越雅弘
木下康仁	桑山浩明
小林直樹	齋藤正洋
榊原次郎	座小田孝安
佐藤久夫	鈴木孝治
武原光志	玉垣 努
角町正勝	土井勝幸
野尻晋一	橋本美芽
長谷川幹	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
若林秀隆	

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
阪井康友	澤 俊二
野崎園子	備酒伸彦
松坂誠應	水間正澄

●編集後記

➤ の冬は例年になく寒さが厳しく、大分県でも雪の影響を受け日常生活にかなりの支
➤ 障をきたした。加えて、インフルエンザが猛威を振るい、いやおうなく夜の付き合
いも自制を求められた。しかし、折よく平昌オリンピックの開催で上手に過ごせた。

さて、今回の特集は介護ロボットである。国は介護ロボットの重点分野として、移乗、移動、排泄、入浴、そして見守りを挙げているが、このたびの介護報酬改定でこの見守りロボットの導入が報酬上、認められた。従来、介護ロボットは介護職員の介護負担軽減を目的にしたものであったが、昨年はこの視点に加えて自立支援を促す視点も取り入れられた。かつ介護業務支援も新たな重点分野となった。このような流れを踏まえると、今後ますます介護領域にロボットの導入が加速されると思う。しかし、このような流れを現実的なものにしてゆくには現場力が欠かせない。

「〇〇ロボットがあれば自分たちの業務はこう変わる。このように変えたい」といったイメージをしっかりと持たないと、宝の持ち腐れ、しまいには、「〇〇ロボットを買うくらいなら職員を増やせ!」といった苦情になったりする。このような職場は、いずれ淘汰されるであろうが、案外ちまたにはこれに似た情景がある。介護分野は製造業のようにロボットを導入することでオートメーション化される環境ではなく、一部の工程(業務)を肩代わりするのが現状である。ついつい、時間に追われているとロボットを活用するよりも従来のやり方のほうが早い! 良い! といった判断に陥りやすい。

このようなことにならないようにするには、ロボット開発と同時にロボットを使い業務を改善する人材の育成が極めて大事ではないかと考える。案外この視点が抜け落ちているように思えてならない。エビデンスがあるからと言って現場に定着しないのはこのようなところに原因があるように思われる。

医療・介護報酬改定で少し慌ただしいかもしれないが、これからの介護・医療領域におけるロボットの導入による近未来像を描いてみてはどうだろう。非現実的なところに現実が潜んでいるものである。

編集委員 佐藤浩二

第13巻第4号[通巻145号] 2018年4月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 4月号

1部定価(本体1,800円+税)
2018年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2018, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)

印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005

広告 | (株) メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがあります
のでご注意ください。

JCOPY <社出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、
そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979,
e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。